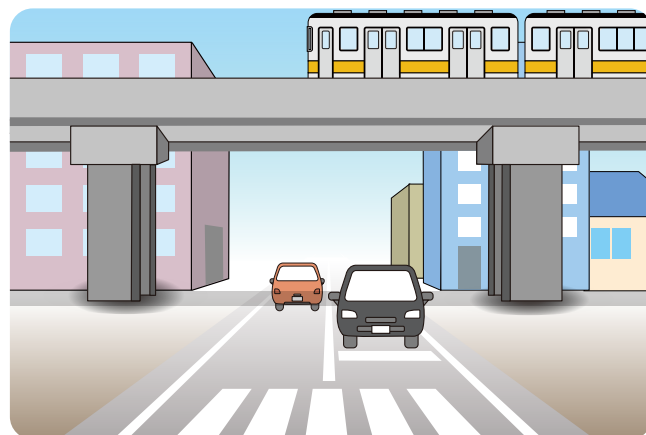


3 事業の効果

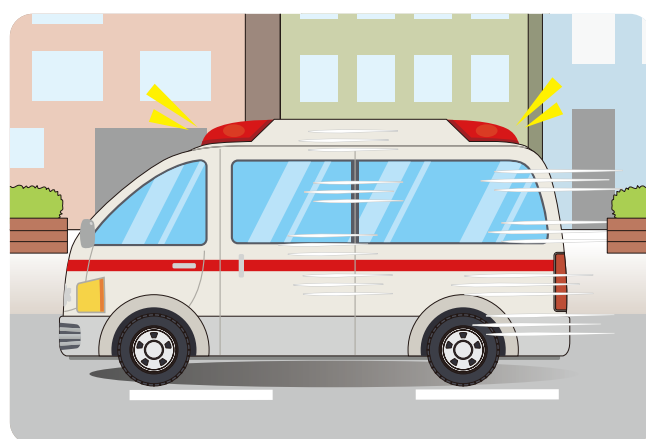
踏切事故や渋滞の解消、
及び交通の円滑化



通学路などにおける歩行者の
通行安全性の向上



緊急輸送道路や避難路の確保



分断された地域の一体化による
生活利便性の向上

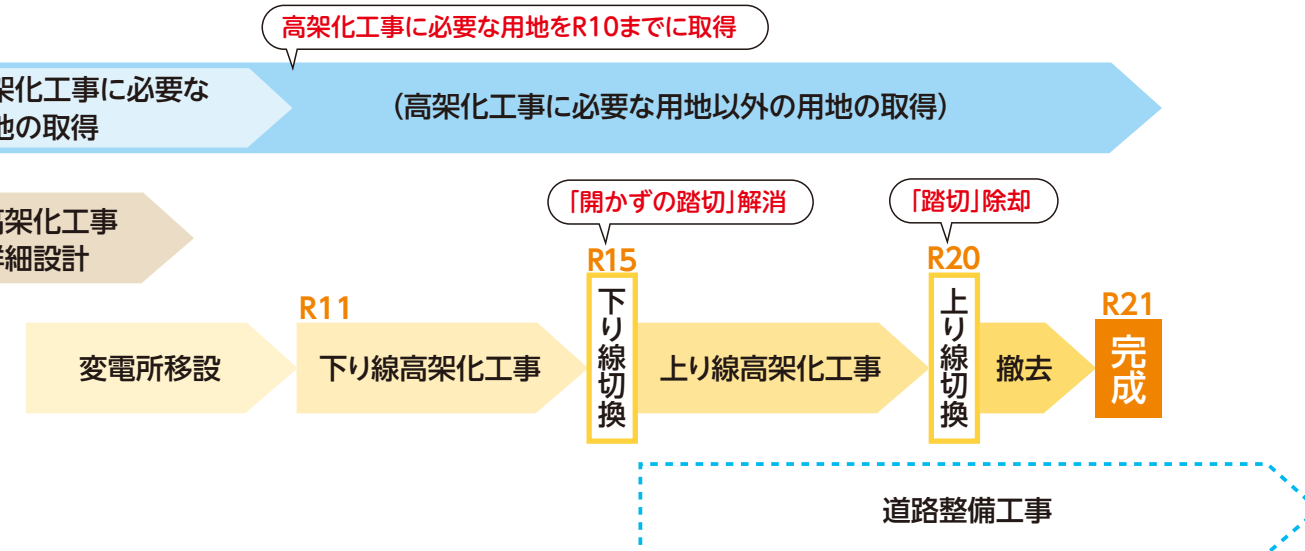


出典元: <https://www.mlit.go.jp/toshi/content/001431090.pdf> (駅まちデザイン)

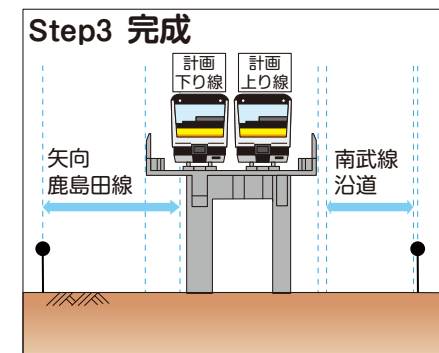
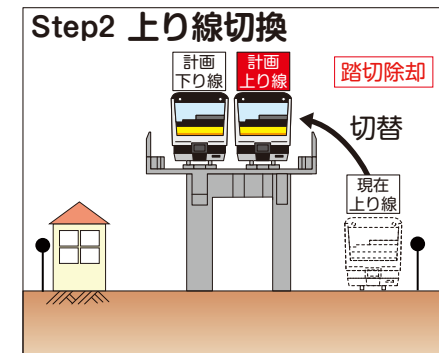
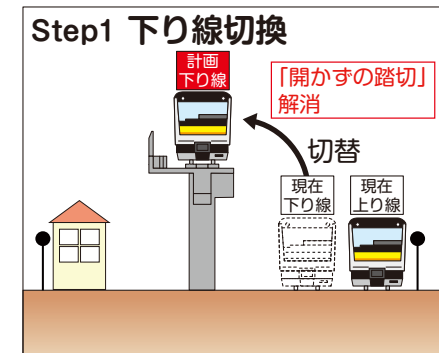
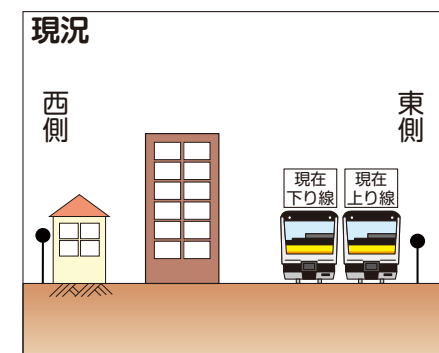
4 事業のスケジュール

※スケジュールは、今後変更となる可能性があります。

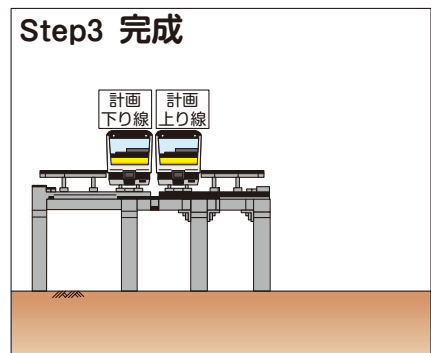
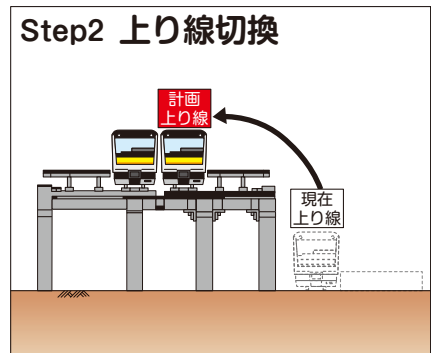
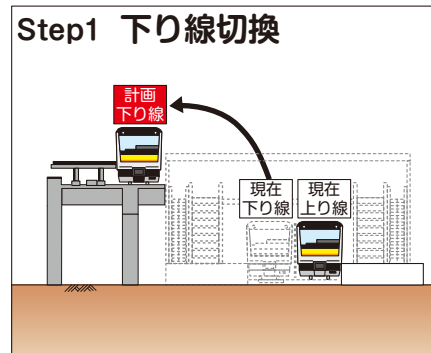
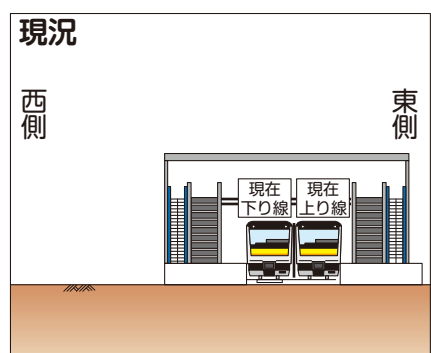
事業着手(事業認可)
R7.11.17



一般部



駅施設部 ※鹿島田駅の例



本連続立体交差事業は「川崎市が事業主体」となり、「道路の整備」の一環として施行する都市計画事業です

■川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課 立体交差担当(事業全般)
TEL:044-200-3499 / FAX:044-200-7703 Email:53douro@city.kawasaki.jp
建設緑政局 道路河川整備部 公共用地課(用地・補償関係)
TEL:044-200-2807・2844 / FAX:044-200-7703 Email:53kouyou@city.kawasaki.jp
住所:川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所本庁舎17階

本連続立体交差事業のこれまでの取組や今後のスケジュール等は川崎市ホームページでご覧いただけます



令和7年10月作成

JR東日本南武線 連続立体交差事業

(矢向駅～武蔵小杉駅間)



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

JR東日本



1 事業の背景

JR東日本南武線(矢向駅～武蔵小杉駅間)では、開かずの踏切に起因する

- ①渋滞や踏切遮断中の横断といった**道路交通に関する課題**
- ②路線バスの速達性の低下、通学路などの安全性の低下など、
地域の生活利便性や生活環境に関する課題
- ③災害発生時の物資輸送を担う緊急輸送道路や広域避難場所への避難路確保など、
災害に対する課題



鹿島田踏切



向河原駅前踏切

抜本的な**踏切対策**が必要

2 事業の概要

JR東日本南武線の矢向駅～武蔵小杉駅間の約4.5kmにおいて鉄道を高架化することにより、9箇所の踏切を除却し、踏切に起因する事故や渋滞を解消することで、地域交通の安全性・円滑性等の向上を図るとともに、分断された地域の一体化による生活利便性の向上を図り、誰もが安心して暮らやすく、災害に強いまちづくりを推進

◆事業主体……川崎市

◆事業区間……矢向駅～武蔵小杉駅(約4,560m)

◆除却踏切数…9箇所

◆総事業費……約1,387億円